

様式第1号(その1)

年 月 日

岩手県知事 様

私立高等学校生徒等奨学給付金給付申請書

(申請に係る基準日: 年 月 日)

次の4点を確認の上、□にレ点を付けてください。

☐ この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。

☐ この申請書に虚偽の記載があった場合は、岩手県の求めに従いその全額を即時返還します。

☐ 私は岩手県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っておりません。

☐ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費(見学旅費又は特別育成費(母子生活支援施設の高校生等を除く))の支弁対象ではありません。

私立高等学校生徒等奨学給付金の受給を申請します。

郵便番号				-				
申請者住所								
フリガナ				日中連絡可能な番号を記入してください。				
申請者氏名	(姓)	(名)	電話番号	- -				
高校生等との関係	<input type="checkbox"/> 親権者 <input type="checkbox"/> 未成年後見人 <input type="checkbox"/> 未成年後見人である里親 <input type="checkbox"/> 主たる生計維持者 <input type="checkbox"/> 生徒本人 <input type="checkbox"/> その他()							

【対象となる高校生等について】

フリガナ			生年月日	
高校生等氏名	(姓)	(名)	昭和	年 月 日
			平成	

在学する学校

学校の名称

私立

学校の種類・課程・学科:

学校設置者

学校の所在地

在学期間

年 月 日 ~ 在学中

学年

学年

過去の高等学校等における在学期間	学 校 名	在学期間	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数
	立	年 月 日から 年 月 日まで		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1回 <input type="checkbox"/> 2回 <input type="checkbox"/> 3回 <input type="checkbox"/> 4回 <input type="checkbox"/> 不明
	立	年 月 日から 年 月 日まで		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1回 <input type="checkbox"/> 2回 <input type="checkbox"/> 3回 <input type="checkbox"/> 4回 <input type="checkbox"/> 不明

※申請書は、対象となる高校生等1名につき1通必要です。
※記入に当たっては、消えるボールペンは使用しないでください。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

様式第1号(その1)

年 月 日

岩手県知事 様

私立高等学校生徒等奨学給付金給付申請書

(申請に係る基準日: 年 月 日)

次の4点を確認の上、□にレ点を付けてください。

☐ この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。

☐ この申請書に虚偽の記載があった場合は、岩手県の求めに従いその全額を即時返還します。

☐ 私は岩手県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っておりません。

☐ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費(見学旅費又は特別育成費(母子生活支援施設の高校生等を除く))の支弁対象ではありません。

私立高等学校生徒等奨学給付金の受給を申請します。

郵便番号				-				
申請者住所								
フリガナ				日中連絡可能な番号を記入してください。				
申請者氏名	(姓)	(名)	電話番号	- -				
高校生等との関係	<input type="checkbox"/> 親権者 <input type="checkbox"/> 未成年後見人 <input type="checkbox"/> 未成年後見人である里親 <input type="checkbox"/> 主たる生計維持者 <input type="checkbox"/> 高校生等本人 <input type="checkbox"/> その他()							

【対象となる高校生等について】

フリガナ			生年月日	
高校生等氏名	(姓)	(名)	昭和	年 月 日
			平成	

在学する学校

学校の名称

私立

学校の種類・課程・学科:

学校設置者

学校の所在地

在学期間

年 月 日 ~ 在学中

学年

学年

過去の高等学校等における在学期間	学 校 名	在学期間	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数
	立	年 月 日から 年 月 日まで		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1回 <input type="checkbox"/> 2回 <input type="checkbox"/> 3回 <input type="checkbox"/> 4回 <input type="checkbox"/> 不明
	立	年 月 日から 年 月 日まで		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1回 <input type="checkbox"/> 2回 <input type="checkbox"/> 3回 <input type="checkbox"/> 4回 <input type="checkbox"/> 不明

※申請書は、対象となる高校生等1名につき1通必要です。
※記入に当たっては、消えるボールペンは使用しないでください。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

【保護者等の収入の状況について】（該当する□にレ印を付けてください。）

(1) 生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助(高等学校等就学費)を受給していること

が分かる証明書を提出します。

☐ 生業扶助(高等学校等就学費)を受給していることが分かる証明書

(2) 次の者の個人番号カードの写し等(個人番号カード、通知カード、個人番号が記載された住民票の写し、住民票記載事項証明書等)又は課税証明書等を提出します。

① ☐ 親権者(両親)2名分

※生徒が在学中に成人に達した場合で、未成年の時点の親権者2人の収入により生計を維持している実態に変更がない場合を含む

② ☐ 親権者1名分

(親権者が一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。)

・離婚、死別等により親権者が1名の場合

・親権者は存在するが、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の個人番号カード等又は課税証明書等を提出できない場合 等

※生徒が在学中に成人に達した場合で、未成年の時点の親権者1人の収入により生計を維持している実態に変更がない場合を含む

③ ☐ 未成年後見人()名分

親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分)

※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者を除く。

※生徒が在学中に成人に達した場合で、未成年の時点の未成年後見人の収入により生計を維持している実態に変更がない場合を含む

④ ☐ 生徒の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)1名分

・生徒が未成年だが、親権者又は未成年後見人が存在しない場合

・入学当初から成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合

・在学中に成人に達した場合で、未成年の時点と主たる生計維持者が異なる場合 等

⑤ ☐ 生徒本人

親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等

保護者等の氏名及び生徒との続柄

氏 名	続柄

氏 名	続柄

【個人番号カード等提出者】上記保護者等の当該申請年1月1日現在の市区町村までの住所を記入してください。

都 道	市 区
府 県	町 村

都 道	市 区
府 県	町 村

※ 次の理由により、個人番号カードの写し等の提出を省略します。

☐ 高等学校等就学支援金における申請時に個人番号利用目的同意書兼個人番号提供書を提出しており、県において個人番号を用いた地方税関係情報を取得することができる場合

(3) 次の理由により、課税証明書等を提出しません。

☐ 所得確認の対象が生徒本人(親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合)であるが、未成年で道府県民税所得割及び市町村民税所得割を課されるだけの収入を得ていない場合

必須 ※(2)及び(3)に該当する場合は、下記内容を確認の上、□にレ印を付けてください。

☐ 私の世帯は、7月1日現在、生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助は受給していません。

【扶養親族等の状況について】

※ (1)に該当する場合又は対象となる高校生等が通信制に在学の場合は記入不要です。

―基準日現在において、当該世帯に「対象となる高校生等以外に扶養している高校生等」及び「15歳以上(中学生は除く。)23歳未満の兄弟姉妹」がいる場合に記入し、確認書類として扶養誓約書を添付してください。―

扶養親族の状況	生徒との続柄	氏 名	生年月日	職業・学校名(高校生の場合は学年も記入)	課程 ※高校生の場合は	奨学金 申請の有無	備考
	<input type="checkbox"/> 兄 <input type="checkbox"/> 弟 <input type="checkbox"/> 姉 <input type="checkbox"/> 妹				<input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input type="checkbox"/> 通信制以外	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	<input type="checkbox"/> 兄 <input type="checkbox"/> 弟 <input type="checkbox"/> 姉 <input type="checkbox"/> 妹				<input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input type="checkbox"/> 通信制以外	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	<input type="checkbox"/> 兄 <input type="checkbox"/> 弟 <input type="checkbox"/> 姉 <input type="checkbox"/> 妹				<input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input type="checkbox"/> 通信制以外	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	<input type="checkbox"/> 兄 <input type="checkbox"/> 弟 <input type="checkbox"/> 姉 <input type="checkbox"/> 妹				<input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input type="checkbox"/> 通信制以外	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

【保護者等の収入等の状況について】（該当する□にレ印を付けてください。）

(1) 生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助(高等学校等就学費)を受給していること

が分かる証明書を提出します。

☐ 生業扶助(高等学校等就学費)を受給していることが分かる証明書

(2) 次の者の個人番号カードの写し等(個人番号カード、通知カード、個人番号が記載された住民票の写し、住民票記載事項証明書等)又は課税証明書等を提出します。

① ☐ 親権者(両親)2名分

※高校生等が在学中に成人に達した場合で、未成年の時点の親権者2人の収入により生計を維持している実態に変更がない場合を含む

② ☐ 親権者1名分

(親権者が一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。)

・離婚、死別等により親権者が1名の場合

・親権者は存在するが、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の個人番号カード等又は課税証明書等を提出できない場合 等

※高校生等が在学中に成人に達した場合で、未成年の時点の親権者1人の収入により生計を維持している実態に変更がない場合を含む

③ ☐ 未成年後見人()名分

親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分)

※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者を除く。

※高校生等が在学中に成人に達した場合で、未成年の時点の未成年後見人の収入により生計を維持している実態に変更がない場合を含む

④ ☐ 高校生の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)1名分

・高校生等が未成年だが、親権者又は未成年後見人が存在しない場合

・入学当初から成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合

・在学中に成人に達した場合で、未成年の時点と主たる生計維持者が異なる場合 等

⑤ ☐ 高校生等本人

親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等

保護者等の氏名及び高校生等との続柄

氏 名	続柄

氏 名	続柄

【個人番号カード等提出者】上記保護者等の当該申請年1月1日現在の市区町村までの住所を記入してください。

都 道	市 区
府 県	町 村

都 道	市 区
府 県	町 村

※ 次の理由により、個人番号カードの写し等の提出を省略します。

☐ 高等学校等就学支援金における申請時に個人番号利用目的同意書兼個人番号提供書を提出しており、県において個人番号を用いた地方税関係情報を取得することができる場合

(3) 次の理由により、課税証明書等を提出しません。

☐ 所得確認の対象が高校生等本人(親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合)であるが、未成年で道府県民税所得割及び市町村民税所得割を課されるだけの収入を得ていない場合

必須 ※(2)及び(3)に該当する場合は、下記内容を確認の上、□にレ印を付けてください。

☐ 私の世帯は、7月1日現在、生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助は受給していません。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

様式第1号(その2)

年 月 日

岩手県知事 様

私立高等学校生徒等奨学給付金給付申請書(前倒し給付)

(申請に係る基準日: 年 月 日)

次の4点を確認の上、□にレ点を付けてください。

☐ この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。

☐ この申請書に虚偽の記載があった場合は、岩手県の求めに従いその全額を即時返還します。

☐ 私は岩手県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っていません。

☐ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費(見学旅費又は特別育成費(母子生活支援施設の高校生等を除く))の支弁対象ではありません。

私立高等学校生徒等奨学給付金の受給を申請します。

郵便番号				-				
申請者住所								
フリガナ				日中連絡可能な番号を記入してください。				
申請者氏名	(姓)	(名)	電話番号	- -				
高校生等との関係	<input type="checkbox"/> 親権者 <input type="checkbox"/> 未成年後見人 <input type="checkbox"/> 未成年後見人である里親 <input type="checkbox"/> 主たる生計維持者 <input type="checkbox"/> 生徒本人 <input type="checkbox"/> その他()							

【対象となる高校生等について】

フリガナ			生年月日	
高校生等氏名	(姓)	(名)	昭和 年 月 日 平成	
在学する学校	学校の名称	私立		
		学校の種類・課程・学科:		
	学校設置者			
	学校の所在地			
	在学期間	年 月 日 ~ 在学中		学年 学年
過去の高等学校等における在学期間	学 校 名	在学期間	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数
	立	年 月 日から 年 月 日まで		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1回 <input type="checkbox"/> 2回 <input type="checkbox"/> 3回 <input type="checkbox"/> 4回 <input type="checkbox"/> 不明
	立	年 月 日から 年 月 日まで		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1回 <input type="checkbox"/> 2回 <input type="checkbox"/> 3回 <input type="checkbox"/> 4回 <input type="checkbox"/> 不明

※申請書は、対象となる高校生等1名につき1通必要です。
※記入に当たっては、消えるボールペンは使用しないでください。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

様式第1号(その2)

年 月 日

岩手県知事 様

私立高等学校生徒等奨学給付金給付申請書(前倒し給付)

(申請に係る基準日: 年 月 日)

次の4点を確認の上、□にレ点を付けてください。

☐ この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。

☐ この申請書に虚偽の記載があった場合は、岩手県の求めに従いその全額を即時返還します。

☐ 私は岩手県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っていません。

☐ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費(見学旅費又は特別育成費(母子生活支援施設の高校生等を除く))の支弁対象ではありません。

私立高等学校生徒等奨学給付金の受給を申請します。

郵便番号				-				
申請者住所								
フリガナ				日中連絡可能な番号を記入してください。				
申請者氏名	(姓)	(名)	電話番号	- -				
高校生等との関係	<input type="checkbox"/> 親権者 <input type="checkbox"/> 未成年後見人 <input type="checkbox"/> 未成年後見人である里親 <input type="checkbox"/> 主たる生計維持者 <input type="checkbox"/> 高校生等本人 <input type="checkbox"/> その他()							

【対象となる高校生等について】

フリガナ			生年月日	
高校生等氏名	(姓)	(名)	昭和 年 月 日 平成	
在学する学校	学校の名称	私立		
		学校の種類・課程・学科:		
	学校設置者			
	学校の所在地			
	在学期間	年 月 日 ~ 在学中		学年 学年
過去の高等学校等における在学期間	学 校 名	在学期間	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数
	立	年 月 日から 年 月 日まで		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1回 <input type="checkbox"/> 2回 <input type="checkbox"/> 3回 <input type="checkbox"/> 4回 <input type="checkbox"/> 不明
	立	年 月 日から 年 月 日まで		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1回 <input type="checkbox"/> 2回 <input type="checkbox"/> 3回 <input type="checkbox"/> 4回 <input type="checkbox"/> 不明

※申請書は、対象となる高校生等1名につき1通必要です。
※記入に当たっては、消えるボールペンは使用しないでください。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

【保護者等の収入の状況について】（該当する□にレ印を付けてください。）

(1)生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助(高等学校等就学費)を受給していることが分かる証明書を提出します。

☐生業扶助(高等学校等就学費)を受給していることが分かる証明書

(2)次の者の課税証明書等を提出します。

①

☐

親権者(両親)2名分

※生徒が在学中に成人に達した場合で、未成年の時点の親権者2人の収入により生計を維持している実態に変更がない場合を含む

②

☐

親権者1名分(親権者が一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。)

・離婚、死別等により親権者が1名の場合

・親権者は存在するが、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の個人番号カード等又は課税証明書等を提出できない場合等

※生徒が在学中に成人に達した場合で、未成年の時点の親権者1人の収入により生計を維持している実態に変更がない場合を含む

③

☐

未成年後見人()名分

親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分)

※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者を除く。

※生徒が在学中に成人に達した場合で、未成年の時点の未成年後見人の収入により生計を維持している実態に変更がない場合を含む

④

☐

生徒の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)1名分

・生徒が未成年だが、親権者又は未成年後見人が存在しない場合

・入学当初から成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合

・在学中に成人に達した場合で、未成年の時点と主たる生計維持者が異なる場合等

⑤

☐

生徒本人

親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合等

保護者等の氏名及び生徒との続柄

氏名

続柄

氏名

続柄

(3)次の理由により、課税証明書等を提出しません。

☐所得確認の対象が生徒本人(親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合)であるが、未成年で道府県民税所得割及び市町村民税所得割を課されるだけの収入を得ていない場合

必須

※(2)及び(3)に該当する場合は、下記内容を確認の上、□にレ印を付けてください。

☐私の世帯は、4月1日現在、生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助は受給していません。

【扶養親族等の状況について】

※(1)に該当する場合又は対象となる高校生等が通信制に在学の場合は記入不要です。

基準日現在において、当該世帯に「対象となる高校生等以外に扶養している高校生等」及び「15歳以上(中学生は除く。)23歳未満の兄弟姉妹」がいる場合に記入し、確認書類として扶養誓約書を添付してください。

扶養親族の状況

生徒との続柄

氏名

生年月日

職業・学校名(高校生の場合は学年も記入)

※高校生のみ

課税

奨学給付金申請の有無

備考

☐兄☐弟

☐姉☐妹

☐兄☐弟

☐姉☐妹

☐兄☐弟

☐姉☐妹

☐兄☐弟

☐姉☐妹

☐通信制

☐専攻科

☐通信制以外

☐通信制

☐専攻科

☐通信制以外

☐通信制

☐専攻科

☐通信制以外

☐通信制

☐専攻科

☐通信制以外

☐有☐無

☐有☐無

☐有☐無

☐有☐無

備考この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

【保護者等の収入等の状況について】（該当する□にレ印を付けてください。）

(1)生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助(高等学校等就学費)を受給していることが分かる証明書を提出します。

☐生業扶助(高等学校等就学費)を受給していることが分かる証明書

(2)次の者の課税証明書等を提出します。

①

☐

親権者(両親)2名分

※高校生等が在学中に成人に達した場合で、未成年の時点の親権者2人の収入により生計を維持している実態に変更がない場合を含む

②

☐

親権者1名分(親権者が一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。)

・離婚、死別等により親権者が1名の場合

・親権者は存在するが、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の個人番号カード等又は課税証明書等を提出できない場合等

※高校生等が在学中に成人に達した場合で、未成年の時点の親権者1人の収入により生計を維持している実態に変更がない場合を含む

③

☐

未成年後見人()名分

親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分)

※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者を除く。

※高校生等が在学中に成人に達した場合で、未成年の時点の未成年後見人の収入により生計を維持している実態に変更がない場合を含む

④

☐

高校生等の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)1名分

・高校生等が未成年だが、親権者又は未成年後見人が存在しない場合

・入学当初から成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合

・在学中に成人に達した場合で、未成年の時点と主たる生計維持者が異なる場合等

⑤

☐

高校生等本人

親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合等

保護者等の氏名及び高校生等との続柄

氏名

続柄

氏名

続柄

(3)次の理由により、課税証明書等を提出しません。

☐所得確認の対象が高校生等本人(親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合)であるが、未成年で道府県民税所得割及び市町村民税所得割を課されるだけの収入を得ていない場合

必須

※(2)及び(3)に該当する場合は、下記内容を確認の上、□にレ印を付けてください。

☐私の世帯は、4月1日現在、生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助は受給していません。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

様式第1号(その3)

年 月 日

岩手県知事 様

私立高等学校生徒等奨学給付金給付申請書(家計急変)

(申請に係る基準日: 年 月 日)

次の4点を確認の上、□にレ点を付けてください。
☐ この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。
☐ この申請書に虚偽の記載があった場合は、岩手県の求めに従いその全額を即時返還します。
☐ 私は岩手県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っておりません。
☐ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費(見学旅費又は特別育成費(母子生活支援施設の高校生等を除く))の支弁対象ではありません。

私立高等学校生徒等奨学給付金の受給を申請します。

郵便番号				-				
申請者住所								
フリガナ				日中連絡可能な番号を記入してください。				
申請者氏名	(姓)	(名)	電話番号	- -				
高校生等との関係	<input type="checkbox"/> 親権者 <input type="checkbox"/> 未成年後見人 <input type="checkbox"/> 未成年後見人である里親 <input type="checkbox"/> 主たる生計維持者 <input type="checkbox"/> 生徒本人 <input type="checkbox"/> その他()							

【対象となる高校生等について】

フリガナ			生年月日	
高校生等氏名	(姓)	(名)	昭和 年 月 日 平成	
在学する学校	学校の名称	私立		
	学校の種類・課程・学科:			
	学校設置者			
	学校の所在地			
	在学期間	年 月 日 ~ 在学中		学年 学年
過去の高等学校等における在学期間	学 校 名	在学期間	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数
	立	年 月 日から 年 月 日まで		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1回 <input type="checkbox"/> 2回 <input type="checkbox"/> 3回 <input type="checkbox"/> 4回 <input type="checkbox"/> 不明
	立	年 月 日から 年 月 日まで		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1回 <input type="checkbox"/> 2回 <input type="checkbox"/> 3回 <input type="checkbox"/> 4回 <input type="checkbox"/> 不明

※申請書は、対象となる高校生等1名につき1通必要です。
※記入に当たっては、消えるボールペンは使用しないでください。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

様式第1号(その3)

年 月 日

岩手県知事 様

私立高等学校生徒等奨学給付金給付申請書(家計急変)

(申請に係る基準日: 年 月 日)

次の4点を確認の上、□にレ点を付けてください。
☐ この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。
☐ この申請書に虚偽の記載があった場合は、岩手県の求めに従いその全額を即時返還します。
☐ 私は岩手県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っておりません。
☐ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費(見学旅費又は特別育成費(母子生活支援施設の高校生等を除く))の支弁対象ではありません。

私立高等学校生徒等奨学給付金の受給を申請します。

郵便番号				-				
申請者住所								
フリガナ				日中連絡可能な番号を記入してください。				
申請者氏名	(姓)	(名)	電話番号	- -				
高校生等との関係	<input type="checkbox"/> 親権者 <input type="checkbox"/> 未成年後見人 <input type="checkbox"/> 未成年後見人である里親 <input type="checkbox"/> 主たる生計維持者 <input type="checkbox"/> 高校生等本人 <input type="checkbox"/> その他()							

【対象となる高校生等について】

フリガナ			生年月日	
高校生等氏名	(姓)	(名)	昭和 年 月 日 平成	
在学する学校	学校の名称	私立		
	学校の種類・課程・学科:			
	学校設置者			
	学校の所在地			
	在学期間	年 月 日 ~ 在学中		学年 学年
過去の高等学校等における在学期間	学 校 名	在学期間	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数
	立	年 月 日から 年 月 日まで		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1回 <input type="checkbox"/> 2回 <input type="checkbox"/> 3回 <input type="checkbox"/> 4回 <input type="checkbox"/> 不明
	立	年 月 日から 年 月 日まで		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1回 <input type="checkbox"/> 2回 <input type="checkbox"/> 3回 <input type="checkbox"/> 4回 <input type="checkbox"/> 不明

※申請書は、対象となる高校生等1名につき1通必要です。
※記入に当たっては、消えるボールペンは使用しないでください。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

【保護者等の家計急変の状況について】（該当する□にレ印を付けてください。）

次の者の家計の状況が確認できる書類を提出します。

①	<input type="checkbox"/>	親権者（両親）2名分 ※ <u>生徒</u> が在学中に成人に達した場合で、未成年の時点の親権者2人の収入により生計を維持している実態に変更がない場合を含む。
②	<input type="checkbox"/>	親権者1名分 （親権者が一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。） ・離婚、死別等により親権者が1名の場合 ・親権者は存在するが、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の個人番号カード等又は課税証明書等を提出できない場合 等 ※ <u>生徒</u> が在学中に成人に達した場合で、未成年の時点の親権者1人の収入により生計を維持している実態に変更がない場合を含む。
③	<input type="checkbox"/>	未成年後見人（ ）名分 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合（未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分） ※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者を除く。 ※ <u>生徒</u> が在学中に成人に達した場合で、未成年の時点の未成年後見人の収入により生計を維持している実態に変更がない場合を含む。
④	<input type="checkbox"/>	生徒の生計をその収入により維持している者（主たる生計維持者）1名分 ・ <u>生徒</u> が未成年だが、親権者又は未成年後見人が存在しない場合 ・入学当初から成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 ・在学中に成人に達した場合で、未成年の時点と主たる生計維持者が異なる場合 等
⑤	<input type="checkbox"/>	生徒本人 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等

保護者等の氏名及び生徒との続柄

氏 名	続柄	氏 名	続柄

必須 ※ 下記内容を確認の上、□にレ印を付けてください。

<input type="checkbox"/>	私の世帯は、基準日現在、生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による生業扶助は受給していません。 ※ 基準日：7月1日（7月以降に家計急変があった場合は、家計急変があった日の翌月1日。ただし、家計急変があった日が月の初日の場合は、家計急変があった月の1日。なお、要綱第5条第1項の前倒し給付の場合は、4月1日。）
--------------------------	---

※ 申請後、決定通知書等が届くまでに就職等で家計の状況に変更が生じる場合は、直ちにお知らせください。

【扶養親族等の状況について】

※（1）に該当する場合又は対象となる高校生等が通信制に在学の場合は記入不要です。

基準日現在において、当該世帯に「対象となる高校生等以外に扶養している高校生等」及び「15歳以上（中学生は除く。）23歳未満の兄弟姉妹」がいる場合に記入し、確認書類として扶養誓約書を添付してください。

扶養親族の状況	生徒との続柄	氏 名	生年月日	職業・学校名（高校生の場合は学生も記入）	課程 ※高校生のみ	奨学給付金申請の有無	備考
	<input type="checkbox"/> 兄 <input type="checkbox"/> 弟 <input type="checkbox"/> 姉 <input type="checkbox"/> 妹				<input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input type="checkbox"/> 通信制以外	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	<input type="checkbox"/> 兄 <input type="checkbox"/> 弟 <input type="checkbox"/> 姉 <input type="checkbox"/> 妹				<input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input type="checkbox"/> 通信制以外	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	<input type="checkbox"/> 兄 <input type="checkbox"/> 弟 <input type="checkbox"/> 姉 <input type="checkbox"/> 妹				<input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input type="checkbox"/> 通信制以外	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	<input type="checkbox"/> 兄 <input type="checkbox"/> 弟 <input type="checkbox"/> 姉 <input type="checkbox"/> 妹				<input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input type="checkbox"/> 通信制以外	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

備考 改正部分は、下線の部分である。

附 則

この要綱は、令和7年 月 日から施行し、令和7年度分の事業から適用する。

【保護者等の家計急変の状況について】（該当する□にレ印を付けてください。）

次の者の家計の状況が確認できる書類を提出します。

①	<input type="checkbox"/>	親権者（両親）2名分 ※ <u>高校生等</u> が在学中に成人に達した場合で、未成年の時点の親権者2人の収入により生計を維持している実態に変更がない場合を含む。
②	<input type="checkbox"/>	親権者1名分 （親権者が一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。） ・離婚、死別等により親権者が1名の場合 ・親権者は存在するが、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の個人番号カード等又は課税証明書等を提出できない場合 等 ※ <u>高校生等</u> が在学中に成人に達した場合で、未成年の時点の親権者1人の収入により生計を維持している実態に変更がない場合を含む。
③	<input type="checkbox"/>	未成年後見人（ ）名分 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合（未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分） ※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者を除く。 ※ <u>高校生等</u> が在学中に成人に達した場合で、未成年の時点の未成年後見人の収入により生計を維持している実態に変更がない場合を含む。
④	<input type="checkbox"/>	高校生の生計をその収入により維持している者（主たる生計維持者）1名分 ・ <u>高校生等</u> が未成年だが、親権者又は未成年後見人が存在しない場合 ・入学当初から成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 ・在学中に成人に達した場合で、未成年の時点と主たる生計維持者が異なる場合 等
⑤	<input type="checkbox"/>	高校生等本人 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等

保護者等の氏名及び高校生等との続柄

氏 名	続柄	氏 名	続柄

必須 ※ 下記内容を確認の上、□にレ印を付けてください。

<input type="checkbox"/>	私の世帯は、基準日現在、生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による生業扶助は受給していません。 ※ 基準日：7月1日（7月以降に家計急変があった場合は、家計急変があった日の翌月1日。ただし、家計急変があった日が月の初日の場合は、家計急変があった月の1日。なお、要綱第5条第1項の前倒し給付の場合は、4月1日。）
--------------------------	---

※ 申請後、決定通知書等が届くまでに就職等で家計の状況に変更が生じる場合は、直ちにお知らせください。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。